

７月１日（９１号）
静岡県理容生活衛生同業組合
静岡市葵区昭和町5番地の４ 平野ビル３-B
TEL253-4417
FAX253-5849
https://www.shizuokariyo.com
✉shizuoka@ck.tnc.ne.jp
発行者 林 敏也

令和8年度　第６９回　通常総代会開催



令和8年５月25日(月)静岡商工会議所にて第69回通常総代会を開催した。

林理事長が「パンデミック対応2025衛生講習会を各支部で開催していただき、静岡県組合の参加人数が全国1位となり、組合員の協力に感謝している。公衆衛生の向上は理容組合の任務と考えているので、今後とも衛生講習会を確実に実施していただきたい。」と挨拶をした。

次に静岡県健康福祉部長表彰に、天竜支部長の三室博司氏が受賞され、賞状と記念品が授与された。定足数107名、出席者107名（内委任状16名）により総代会は成立した。

第1号議案「令和7年度事業並びに事務報告」　　異議なく可決承認された。

第2号議案「令和7年度一般会計収支決算並びに各特別会計収支決算報告」

庄司財政部長が「組合費の改定により繰越金が増えたが、今後の推移を予測し、引き続き経費節減を図る。」と補足説明をした。異議なく可決承認された。

第3号議案「令和8年度事業計画（案）」

林理事長が「営業支援策として、今年度はヴィダルサスーン集中セミナーや、補助金を活用しアイロンパーマ、スタンドシャンプーを学び直す講座を開催する。また組合員の健康対策として椅子ヨガ講座を予定している。クールシェアの活動も活発に行う。」と話した。各部長より補足説明があり、松浦共済部長からは「全理連団体生命の幹事会社が第一生命株式会社に変更になり、若年層の加入推進を図る。」と説明があった。ここで事前質疑の「カット後のシャンプーの義務化」「衛生講習会の義務化」について、林理事長より「義務化はなかなか難しいが今後も行政に働きかけは続ける。」と回答があった。異議なく可決承認された。

第４号議案「令和8年度一般会計収支予算（案）」異議なく可決承認された。

第4号議案「令和8年度一般会計収支予算（案）」異議なく可決承認された。

第5号議案「定款及び規約の一部改正」

組合脱退月が5月・9月・1月の末日に限られることや、代議員数の変更の説明があった。異議なく可決承認された。

第6号議案「理容業振興計画の変更認定申請について」異議なく可決承認された。

第7号議案「災害積立金について」

年間1店舗あたり500円を集金し、災害積立金に充てると説明をした。質疑では金額が足りないのではないかとの意見が出たが、「増額となると十分な話し合いが必要で、まずはこの金額で始めたい。」と林理事長が回答した。異議なく可決承認された。

引き続き「静岡県理容共済会通常総代会」「静岡県理容政治連盟通常総代会」を開催し、同総代会の議案も全て承認され閉会した。

第69回通常総代会を終えて

第６９回通常総代会が無事終了いたしました。

近年、理容業界を取り巻く環境は大きく変化しています。人口減少や高齢化による顧客層の変化、人材不足、原材料費や光熱費の高騰など、私たち事業者が直面する課題は少なくありません。また、お客様のニーズも多様化し、技術力だけでなくサービスや情報発信力も求められる時代となっています。

そのような中で、組合の役割はますます重要になっています。技術講習会や経営支援事業、衛生管理の徹底、後継者育成、青年部活動の活性化などを通じて、組合員の皆様が安心して営業を続けられる環境づくりを進めていかなければなりません。また、組合だからこそ実現できる情報共有や仲間同士のつながりを大切にし、地域社会に信頼される理容業界を目指していきたいと思います。

今回の総代会では、多くの皆様から前向きなご意見をいただきました。組合員数の減少という課題がある一方で、未来に向けた災害支援を求める声も聞かれました。これらの声を真摯に受け止め、役員一同、より魅力ある組合づくりに努めてまいります。

最後に、全理連団体生命共済制度についての説明も行われました。組合員やそのご家族の安心につながる制度内容が分かりやすく紹介され、多くの参加者が関心を持って耳を傾けていました。万が一に備える保障の重要性を改めて認識する機会の充実を実感できる有意義な説明でした。

今後も、引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、総代会終了のご報告とさせていただきます。

広報部長　松浦訓久



令和８年(2026)7月1日

東部会だより

吹く風に初夏の訪れを感じる頃となりました。

さて、去る2月23日、東部総代会を開催いたしました。議事は円滑に進行し、今後の部会運営に関する事業見直し案、役員削減案をはじめ、各議案につきましてご承認をいただき、無事閉会いたしました。閉会後には、時間の許す支部総代役員の皆様にご参加いただき、意見交換を兼ねた会食会を開催いたしました。

東部会におきましては、都市部と郡部で置かれている状況に大きな差が生じております。特に組合員の高齢化は急速に進行しており、いわゆる団塊世代の引退を見据えた3年後、5年後を考えますと、今まさに対応すべき重要な局面を迎えております。組合員数の減少も深刻な課題となっております。

各支部では、事業運営の見直し、経費削減、支部体制の維持や再編、さらには支部合併など、多くの課題を抱えております。意見交換会では、各支部の現状や課題について活発な意見が交わされ、支部の枠を超えた情報共有と課題認識を深める貴重な機会となりました。

また、現状に苦慮している支部や組合員への対応策、今後の支部運営のあり方、東部会執行部との連携強化などについても多くのご意見をいただき、今後の運営に向けて大変有意義な場となりました。

私たち理容組合は、組合員皆様からお預かりしている組合費によって運営されております。その中で、組合員の皆様から寄せられるご意見やご要望に真摯に耳を傾け、相互扶助の精神をもって支え合うことが、組合本来の姿であり、役員の責務であると考えております。

現在、組合を取り巻く環境は大きく変化し、これまでに経験したことのない課題も数多く生じております。しかし、このような時代だからこそ、組合員と役員が連携し、協調しながら歩んでいくことが何より重要であると感じております。役員一同、組合員の皆様が安心して営業を継続できるよう、既得権益の維持をはじめ、共済制度、賠償保障共済、顧問弁護士制度など、各種支援事業の充実に努めております。

また、高齢化や郡部における組合員減少の問題につきましても、組合として真摯に向き合い、今後も対応を進めてまいりますので、支部長を中心に皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

静岡県理容組合、東部会は組合員皆様のための組合です。今後も組合員店舗の発展と業界の維持向上のため、役員一同尽力してまいりますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

東部会広報　原　晋一



中部会だより

皆様、こんにちは。焼津支部の加藤です。

今回は、訪問理容についてお話したいと思います。

以前に比べると、地域ごと自治体との連携が取れるようになりました。自治体によって補助金の違いはありますが、世間の認知度が上がっているのは間違いありません。

訪問理容は単に髪をカットするだけの仕事ではありません。

外出する機会が減ってしまった方々にとって、身だしなみを整えることは「尊厳」を守り、「心の元気」を取り戻す大きなきっかけになります。鏡を見て笑顔になるお客様の姿を見る度、私は理容の持つ「人を幸せにする力」を再確認します。

お客様が来店できないなら、こちらから出向く・・これこそが地域に根差す理容店の重要な使命です。超高齢社会において訪問理容のマーケットと需要は確実に拡大しております。実際に「どこの理容店にお願いしたらよいのか？」「理容師を指名できるのか？」などの声がお客様ご本人、ケアマネージャー、福祉施設の方から上がっております。

サロンワークの合間や定休日を活用した新しい活動の柱として、大きな可能性を秘めている事業だと思います。

訪問理容を始めようか検討されている方の中には、「機材はどうするのか？」「福祉の知識がない」といった不安があるかもしれません。このような時こそ、組合の横のつながりで情報交換をしてください。

この事業を新規参入のよそ者に奪われるのではなく、我々が地域社会に貢献しませんか？

時代が変わっても私たちの技術は必要とされます。お客様が生涯にわたって「お洒落」を楽しめる街を、私たち理容組合の力で一緒に作っていきましょう。

中部会広報　加藤慎也



西部会だより



先日６/1に浜松福祉交流センターにてＲ８年西部会２回講習のＩ回目として全国大会優勝、世界大会も団体金メダルを獲得し、近年は理容の仕事を丁寧かつユーモアを交えながら紹介するＹｏｕｔｕｂｅ「飛びちゃんねる」を公開している飛田恭志全理連中央講師をお招きし「生涯パーマ・アイロンを掛けてもうらうには？」という題目で講習会を開催させて頂きました。組合店舗が減少する中、８０店舗のお申し込みを頂けた事は本当に感謝です。飛田先生はアイロンの名手という事で、今回はイケオジスタイルをお願いしエイジングケアをしながらアイロンを掛ける方法を教わりました。以前アイロンは押して掛けると教わった事があるのですが、「最初に少し回転させる事で髪がアイロンに触れる面積が広がり掛かりやすくなる」事や昨今の薬液事情「トステア」の説明⇒2023年に販売が開始された最先端のヘアケア成分、アイロンやドライヤーの熱でダメージを与えるどころか、むしろ「ツヤを仕込む成分」として近年着目されているそうで、アイロンパーマ時の使用方法も教えて頂きました。

実演課程もビフォー、カット後、薬液施術後、アイロン終了後、仕上がり を その都度「モデルさんの髪を触って見て下さい」とおっしゃり、カットの質感、薬液によるハリコシ感が出ている事が良く解りました。

ネーミングも服飾業界では「ももひき」→「レギンス」とする事で新たな顧客層を獲得しています。アイロンパーマ＝パンチパーマではなく「朝ラクスタイルパーマ」や「デザインフローパーマ」、「バーバーカール」など少し視点を変えると良いかと思います。アイロンは理容師が得意とする技術ですが、最近は美容師の方々もアイロンの講習に参加される方が増えています。

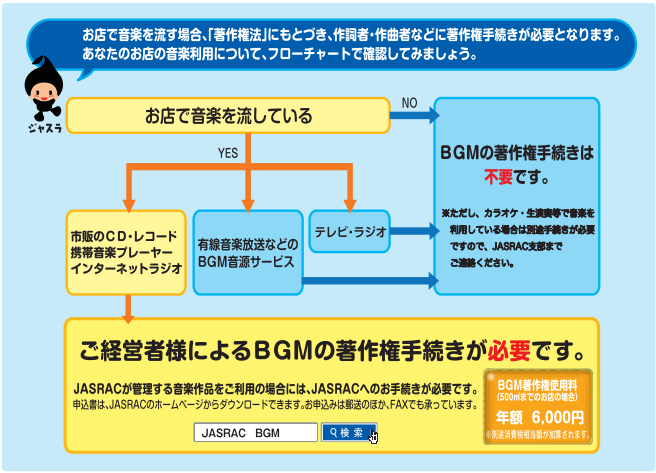
薬剤もＩ種類では無く御客様の髪質に合わせた物を複数用意したり、最新のケミカルを学ぶ事で御客様への提案力も上がると思います。そうは言っても なかなかＩ人で行動に移す事が難しいのが現実です。そんな時こそ各支部の教育部長に相談し、組合の仲間で勉強会を開き、より良い向上・結束を高め互いに営業に役立てて頂ければ嬉しく思います。

今後 西部会で取り組んで欲しい講習等、私の顔を見かけたら お声かけ下されば幸いです。

西部会広報　橋本正史



一般社団法人　日本音楽著作権協会　静岡支部
〒420-0851
静岡市葵区黒金町 59-6 大同生命静岡ビル 5F
Tel.054-254-2621 Fax.054-254-0285
JASRAC
オンライン
申請窓口





先日、NHK「クローズアップ現代」という番組で「現場仕事で年収アップ？」がテーマで放送されました。「技術をもつことによって、大げさでなく人生が楽しくなる。現場で働く方が直接お客様と触れ合えて、いろんな声がきけて本当に楽しい。」等の声と、実際に年収がUPした事例が紹介されてました。

昔、「きつい、汚い、危険」３Ｋと避けられていた現場仕事も、今の３Ｋは、「感心、共感、感謝」だそうです。そして最後に「やりたい仕事を探すばかりではなく、今“求められる仕事”は何かを考えることも大事」と。現場仕事は、求められて「感心、共感、感謝」され高評価をいただいていると番組が締めました。残念ながらそこには私達、理容業が事例に上がりませんでしたが、「手に職を持つ」業として明るい兆しを感じる番組でした。私たち業も早く適正価格に近づき、事例が報道される事を願うばかりです。

県組合では、8月31日と9月1日に「ヴィダルサッスーンカット・集中講座」を実施します。そして秋には、時代にマッチした「新解釈アイロンパーマ技術」と「新解釈スタンドシャンプー技術」を発表します。

「リバイバル」昔輝いていた技術を再構築して再び輝かせる事。3つの技術がそんな新３Ｋ「感心・共感・感謝」を生んでくれることを願うばかりです。同時に、私たちも理容師として一日も長く輝く続けるために「健康講座」を8月24日に開催します。カラダが資本です。日々の身体ケアも大切ですね。チラシを配布しますので是非ご参加ください。



では、暑さに負けず頑張ってまいりましょう！

いつもご拝読いただきありがとうございます。

静岡県理容組合　理事長　林敏也





全理連団体生命共済制度ご加入のおすすめ
令和８年７月（保障【責任】開始日）から

26歳以下の方は

1口/100万円分の掛金実質負担なし
(加入にはお申し込み手続きが必要です)

36歳以下の加入者は

「ベネフィット・ステーション」
が利用できるようになります。

また制度が改訂され、配偶者や条件付きながら高血圧や糖尿病の持病がある方も加入可能となりました。
この機会に、加入をご検討ください。



《お問い合わせ》　静岡県理容生活衛生同業組合事務局 電話054-253-4417

令和７年度　静岡県理容生活衛生同業組合
全理連共済支払額 (R7.4.1～R8.3.31)

《内訳》

団体生命　23,817,500円

死亡共済金	７件	13,000,000 円	還暦祝金	２２件	315,000 円
高度障害給付金	１件	4,000,000 円	古希祝金	８件	65,000 円
災害入院給付金	２件	157,500 円	長寿祝金	２５件	5,000,000 円
入院見舞金	４５件	710,000 円	人間ドック補助金	５２件	520,000 円
誕生祝金	１件	50,000 円			

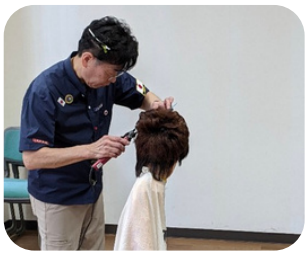
療養補償（所得）	25件	1,753,933 円
療養補償（医療）	18件	1,883,000 円
賠償責任	2件	59,915 円

是非、全理連共済で安心を



令和8年静岡県理容競技選考発表会観戦記

教育部長　鈴木晴久





４月２０日(月)、静岡生衛会館に於いて令和８年静岡県理容競技選考発表会が開催されました。

今年は参加人数が少なく、正直なところ少し寂しさも感じる大会となりました。ですが、その分、出場された皆さん一人ひとりの本気の姿勢や、技術にかける想いの強さがより際立ち、非常に濃い時間となりました。

競技に向き合う緊張感、仕上がりにこだわる真剣な眼差し、そして終わったあとの達成感や悔しさそのすべてが、この場でしか得られない大きな経験だと改めて感じました。

競技会は「上手い人が出る場所」ではなく、「上手くなるために挑戦する場所」です。少しでも迷っている方、興味がある方は、ぜひ一歩踏み出してみてください。その一歩が、確実に自分の成長につながります。

そしてこの大会は、１０月に鹿児島で開催されるBBジャパンカップ２０２６（第７８回全国理容競技大会）への大切な第一歩でもあります。ここからさらにレベルアップし、より大きな舞台へ挑んでいきましょう。

来年は、もっと多くの仲間とこの熱い舞台を共有できることを心から楽しみにしています。挑戦する皆さんを全力で応援しています。

全理連公式
インスタグラムQRコード

Follow Us!

SCAN ME!

最新情報を配信中！

物　故　者　謹んでお悔やみ申し上げます

清　水	支部	馬場	英彰	様	（73歳）	令和	8年	4月
天　竜	支部	服部	直人	様	（53歳）	令和	8年	4月
浜　北	支部	柴田	亨一	様	（84歳）	令和	8年	4月
天　竜	支部	片桐	五男	様	（85歳）	令和	8年	5月

【　編集後記　】

7月号の「STAND UP」の編集を無事終えることができました。ご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。今号では総代会の報告をはじめ、各部からの活動報告や今後の事業予定を掲載しています。編集を通じて、組合活動を支える多くの仲間の存在を改めて実感しました。本誌が情報共有と組合員同士のつながりを深める一助となれば幸いです。

広報部長　松浦訓久